

横浜市政記者会・横浜経済記者クラブ
同時発表

2021年10月21日
横浜市立大学

産公学プロジェクト「横浜をつなげる30人」 ～第2期がスタートします～

横浜をつなげる 30人

横浜市立大学国際商学部 芦澤美智子准教授^{※1}と吉永崇史准教授^{※2}による、イノベーション・起業家文化上形成のためのプロジェクト「横浜をつなげる30人」の第2期がスタートします。

「横浜をつなげる30人」は、横浜に関係する様々なセクター（大企業・中小企業・ベンチャー企業・NPO・大学・市民・行政など）から一般公募により若手メンバーが集って実施される、拠点都市における大学・産業界・自治体等との連携やネットワーク構築を進めるためのプロジェクトです。

なお、この取り組みは、国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）「SCORE 大学推進型（拠点都市環境整備型：横浜プラットフォーム^{※3}）」の支援を受けて行われるものです。



第1期は、バックグラウンドも所属組織も多彩な40歳未満の30人が出会い、つながり、実験的なプロジェクトや試みがその場からいくつも生まれました。

（第1期の活動の様子）

<https://30fan.jp/category/yokohama/>

～今後の開催予定～

- 第1回 2021年10月27日(水) 13:00～18:00 ハイブリッド開催
 第2回 2021年11月24日(水) 13:00～18:00 オンライン開催
 第3回 2021年12月8日(水) 13:00～18:00 オンライン開催
 第4回 2022年1月26日(水) 10:00～18:00 オンライン開催
 第5回 2022年2月9日(水) 13:00～18:00 オンライン開催
 第6回 2022年3月23日(水) 13:00～18:00 オンライン開催
 ※開催につきましては、一部対面での開催の可能性がございます※



クロスセクターでの協創によって実現すること

1 地域/都市の未来

横浜の未来をつくる



2 自治体の公民協働推進

企業や自治体とつながることによる活動拡大



3 企業のイノベーション活動

多様なセクターとの出会いによるイノベーションの促進



4 社会課題の解決

自治体だけでは手の届かない地域課題の共創



用語説明

※1 芦澤 美智子

横浜市立大学国際商学部／国際マネジメント研究科国際マネジメント専攻准教授。博士（経営学）。

1996年より公認会計士として会計監査、M&A 財務監査等に従事した後、MBA を取得。その後、産業再生機構とアドバンテッジ・パートナーズにおいて企業再生に携わる。それらの経験を踏まえて、企業再生や企業変革について研究を行う。2013年の横浜市立大学着任後は、地域に関わりながら、地域（コミュニティ）の変革について研究を進めている。スタートアップ・エコシステム形成の学会発表・講演等多数。

2014年 M&A フォーラム賞受賞。上場企業社外取締役や M&A 第三者委員、横浜市の各種委員等も務める。

※2 吉永 崇史

横浜市立大学国際商学部／国際マネジメント研究科国際マネジメント専攻准教授。博士（知識科学）。1998年より（旧）三井信託銀行に勤務。その後、北陸先端科学技術大学院大学、富山大学を経て、2013年に横浜市立大学に着任。経営組織論、ダイバーシティ・マネジメント、ナレッジ・マネジメントを中心に、多様性を活かして知識創造を志向する経営組織と、組織活性化のための効果的なコミュニケーションについての研究・教育活動を実施。

これまでに、文部科学省高等教育局障がいのある学生の修学支援に関する検討会委員、横浜市男女共同参画審議会委員等も務める。

※3 横浜プラットフォーム

令和3年度に、国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）社会還元加速プログラム（SCORE／拠点都市環境整備型）として採択された、一般社団法人横浜みなとみらい21を主幹機関とし、共同機関である神奈川大学・関東学院大学・横浜国立大学・横浜市立大学の4大学が連携して実施する事業の総称。横浜市においてライフサイエンス（健康・医療）、IoT（スマートシティ、DX、5Gなど）、ハードテック（ものづくり）を重点分野としたスタートアップ・エコシステムを構築し、東京コンソーシアムにおけるディープテック分野を中心としたスタートアップ拠点形成支援の役割を担う。



横浜市立大学は、
様々な取り組みを
通じてSDGsの達
成を目指します。

